

修士課程

1. 履修上の注意

(1) 修了要件

修得単位数の合計が修了所要単位数を満たしていても、各科目区分の所要単位数を満たしていない場合には修了できませんので、注意してください。

科目区分	領域	科目名	修了所要単位
必修科目	研究法	心理学研究法演習Ⅰ 心理学研究法演習Ⅱ	2単位以上 (修了所要単位に含めることができるのは6単位まで)
基礎科目	認知系	精神保健特論 言語心理特論 学習心理特論 音声言語科学特論	14単位以上
	発達系	発達心理特論 発達行動特論 スポーツ心理特論 健康心理特論 社会心理特論	
	共通	心理研究法特論 応用心理統計Ⅰ 応用心理統計Ⅱ	
展開科目	認知系	知覚研究論演習 学習指導特論 認知学習過程演習 犯罪心理特論 精神生理特論 言語心理演習 音声言語科学演習 読書心理特論	20単位以上
	発達系	教育心理特論 臨床心理特論 障害児心理特論 学校カウンセリング演習 生徒指導特論 学校コンサルテーション特論 心理教育アセスメント特論 心理教育アセスメント演習 人格心理特論	
自由科目	心理学専攻の専門科目のうち、哲学専攻と合同開講のもの、及び他専攻科目		修了所要単位に含めることができるのは10単位まで
修士論文			
合計			30単位以上

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

継続履修について

シラバスにも記載があるとおり、授業科目のうち、心理学研究法演習Ⅰ・Ⅱは、異なる年度に複数回履修することが可能です。さらに同じ年度においても、異なる教員が担当している科目であれば、重複履修できます。

なお、授業科目担当者一覧の連続欄に「○」の記載がない科目については、年度を超えて再度履修することはできません。

(3) 修士論文要旨の掲載について

修士論文の要旨は「卒論・修論要旨集」と「法政心理学会年報」に掲載されます。心理学専攻では研究倫理の観点から研究成果の公表を研究者が実施すべき必須事項であると考え、学修目標の一つとして設定しているからです。

(4) 学校心理士について

心理学専攻修士課程では、学校心理士の申請に対応可能な授業科目を開講しています。詳細は本要項の53ページをご覧ください。

(5) 人文科学研究科他専攻及び他研究科に在籍の方へ

原則として、心理学研究法演習Ⅰ・Ⅱの履修は不可となっています。それ以外の科目を履修しようとする場合には、当該科目のシラバスなどをよく確認の上、必要に応じて事前に担当教員に連絡を取ってください。

2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに履修して単位を修得した科目を今年度もう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同じ名前の科目を複数履修すること。

【他専攻】：他専攻の学生が履修可能な科目。

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考	
心理学研究法演習Ⅰ	竹 島 康 博	1	○	○※		※異なる教員が担当している科目は同年度に重複履修可 6単位まで修了要件に含める	
心理学研究法演習Ⅱ	竹 島 康 博	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	高 橋 敏 治	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	高 橋 敏 治	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	渡 辺 弥 生	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	渡 辺 弥 生	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	田 嶋 圭 一	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	田 嶋 圭 一	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	島 宗 理	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	島 宗 理	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	越 智 啓 太	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	越 智 啓 太	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	藤 田 哲 也	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	藤 田 哲 也	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	荒 井 弘 和	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	荒 井 弘 和	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅰ	林 容 市	1	○	○※			
心理学研究法演習Ⅱ	林 容 市	1	○	○※			
音声言語科学特論	田 嶋 圭 一	2			○		英文学専攻と合同

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
学習心理特論	藤田 哲也	2			○	
社会心理特論	越智 啓太	2			○	
読書心理特論	平山 祐一郎	2			○	
教育心理特論	平山 祐一郎	2			○	
犯罪心理特論	越智 啓太	2			○	
学習指導特論	藤田 哲也	2			○	
知覚研究論演習	竹島 康博	2			○	
音声言語科学演習	田嶋 圭一	2			○	英文学専攻と合同
精神生理特論	高橋 敏治	2			○	
認知学習過程演習	藤田 哲也	2			○	
臨床心理特論	中村 玲子	2			○	
発達心理特論	渡辺 弥生	2			○	
障害児心理特論	奥田 健次	2				
人格心理特論	大森 美香	2			○	
精神保健特論	高橋 敏治	2			○	
学校カウンセリング演習	渡辺 弥生	2			○	
発達行動特論	島 宗理	2			○	
生徒指導特論	小澤 真	2			○	
学校コンサルテーション特論	島 宗理	2			○	
心理教育アセスメント特論	杉山 崇	2			○	
心理教育アセスメント演習	熊 仁美	2			○	
スポーツ心理特論	荒井 弘和	2			○	
心理研究法特論	竹島 康博	2			○	
応用心理統計Ⅰ	山際 勇一郎	2			○	
応用心理統計Ⅱ	山際 勇一郎	2			○	
言語分析哲学研究Ⅱ-1	中釜 浩一	2			○	哲学専攻と合同
言語分析哲学研究Ⅱ-2	中釜 浩一	2			○	哲学専攻と合同
古代哲学史研究Ⅱ-1	奥田 和夫	2			○	哲学専攻と合同
古代哲学史研究Ⅱ-2	奥田 和夫	2			○	哲学専攻と合同
近代倫理学史研究Ⅱ-1	菅沢 龍文	2			○	哲学専攻と合同
近代倫理学史研究Ⅱ-2	菅沢 龍文	2			○	哲学専攻と合同
科学哲学研究Ⅱ-1	佐藤 真人	2			○	哲学専攻と合同
科学哲学研究Ⅱ-2	佐藤 真人	2			○	哲学専攻と合同

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2023年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 履修上の注意

人文科学研究科心理学専攻では、2017年度より、博士後期課程においてコースワークおよび科目の単位制を導入しました。これに伴い、2017年度以降入学者と2016年度以前入学者では修了要件が異なりますので、ご注意ください。

【2017年度以降入学者】

(1) 修了要件

必修科目	12 単位以上修得
選択必修科目	8 単位以上修得
自由科目	修了要件外※下記 (2) を参照
博士論文	
合計	20 単位以上

※課程修了には、単位の修得のほか博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

履修区分	科目名	単位	履修上の指示	修了所要単位	
必修科目	心理学特殊研究Ⅰ	2	指導教員が担当する「心理学特殊研究Ⅰ・Ⅱ」で修了所要単位を満たすこと。(継続履修可)	12 単位以上 (修了所要単位に含めることができるのは12 単位まで)	計 20 単位 以上
	心理学特殊研究Ⅱ	2			
選択必修科目	大学教員心理学基礎講座	2	継続履修不可	8 単位以上	
	心理学英語論文作成指導	2			
	知覚認知心理学特殊講義	2			
	精神生理学特殊講義	2			
	発達心理学特殊講義	2			
	言語心理学特殊講義	2			
	行動分析学特殊講義	2			
犯罪心理学特殊講義	2				
自由科目					

① 選択必修科目の履修について

- 選択必修科目については一度しか履修できません。
- 「大学教員心理学基礎講座」・「心理学英語論文作成指導」では心理学に特化した専門的な内容を取り扱います。
- 「大学教員心理学基礎講座」・「心理学英語論文作成指導」は毎年開講し、その他の選択必修科目は1年度に2科目ずつ開講します(科目ごとには3年に一度の開講となります)。
- 「大学教員心理学基礎講座」・「心理学英語論文作成指導」以外の選択必修科目については、指導教員以外が担当する科目で修了所要単位を満たしてください。指導教員が担当する科目を履修しても修了所要単位に含めません。

② 自由科目の履修について

他専攻の博士後期課程設置科目及び修士課程設置科目は自由科目として、修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。

(3) 学校心理士について

心理学専攻修士課程では、学校心理士の申請に対応可能な授業科目を開講しています。詳細は本要項の53ページをご覧ください。

【2016年度以前入学者】

(1) 修了要件

2017年度以降も修了要件に変更はありません。課程修了には、3年以上在学し、論文指導科目（「心理学特殊研究Ⅰ」「心理学特殊研究Ⅱ」）を計6科目以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。なお、単位制導入に伴い2017年度以降開講する「心理学特殊研究Ⅰ・Ⅱ」は2単位科目となりますが、単位数による修了要件の計算はいたしません。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

①新設科目の履修について

修了要件外の科目として以下の新設科目を履修することができます。

科目名	単位	履修上の注意
大学教員心理学基礎講座	2	(1) 継続履修不可とします。 (2) 「大学教員心理学基礎講座」・「心理学英語論文作成指導」では心理学に特化した専門的な内容を取り扱います。 (3) 「大学教員心理学基礎講座」・「心理学英語論文作成指導」は毎年開講し、その他の選択必修科目は1年度に2科目ずつ開講します（科目ごとには3年に一度の開講となります）。
心理学英語論文作成指導	2	
知覚認知心理学特殊講義	2	
精神生理学特殊講義	2	
発達心理学特殊講義	2	
言語心理学特殊講義	2	
行動分析学特殊講義	2	
犯罪心理学特殊講義	2	

②修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

(3) 学校心理士について

心理学専攻修士課程では、学校心理士の申請に対応可能な授業科目を開講しています。詳細は本要項の53ページをご覧ください。

2. 授業科目担当者一覧

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
心理学特殊研究Ⅰ	指 導 教 員	2	○			
心理学特殊研究Ⅱ	指 導 教 員	2	○			
大学教員心理学基礎講座	藤 田 哲 也	2			○	
心理学英語論文作成指導	田 嶋 圭 一	2			○	
行動分析学特殊講義	島 宗 理	2			○	
知覚認知心理学特殊講義	竹 島 康 博	2			○	

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2023年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。
Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>